

# 第7章

## 地区別の観光交流振興計画

## 1 地区の位置付け(ポジショニング)と将来の方向性の図表の見方

地区別の観光交流振興計画の「図表 ポジショニングと将来方向性」は、代表的な観光地・観光施設に訪れている客層の現状から、各地区の位置付けを(集客エリア(横軸))と(観光客層(縦軸))の2つの軸で整理するとともに、「観光」「交流」「レクリエーション」「日常生活の交流・レクリエーション」に分類しています。

### (1)横軸(集客エリア)

来訪者の居住地特性(集客エリアの広さ)を表す軸で、左側に行くほど集客エリアは狭く、市内や周辺市町といった近隣からの来訪者のウエイトが高く、右側に行くほど、集客エリアは広くなります。

### (2)縦軸(観光客層)

来訪者の年代特性や目的性の強さを表す軸で、上方に行くほど多様な世代が訪れるという特性や「観る」を中心とした一般的な観光志向に対応する観光地・観光施設としての性格を示しています。

逆に、下方に行くほど特定の世代層が訪れるウエイトが高く、特定の目的や志向性の強い来訪者、あるいは、リピート性のウエイトが高くなります。

また、各地区の将来の方向性を「より遠方からも集客できるような方向(横軸右方向)」に導いていく場合、「より一層多様な世代にとって魅力的に感じられる方向(縦軸上方向)」に導いていく場合、「明確な目的を持って何度も来訪する特定の客層にとって魅力的に感じられる方向(右下方向)」に導いていく場合の3つの視点から整理しています。

## 2 重点プロジェクトと事業の位置付け

地区別の観光交流振興計画で取り上げている重点的に取り組む重点プロジェクトや各事業は、地区の観光まちづくりを推進していくために必要と考えられる事業例です。展開シナリオのフローや各事業は一例であり、効果的、効率的な事業展開を行っていく上では、この展開シナリオの順序や事業内容等を柔軟に変更していく必要があります。

